

# 東南アジアの自然と農業研究会

## 第100回記念例会のご案内

『東南アジアの自然と農業研究会』は、発足して20年を経て、ちょうど第100回目の例会を迎えることとなりました。

この20年間に、東南アジアの野と森と海は大きく変貌しました。市場原理は農村の隅々にまで浸透し、在地の農業にかわり近代的農業があちこちに導入されました。豊かな森と海は、地元の人々の生活資源としてだけでなく国家資源として大規模に利用され、その枯渇が危惧されるにいたっています。

研究調査の様態も変わりました。フィールドでの調査研究の機会は格段に増加し、同一調査地を繰り返し訪れることも多くなっています。調査地域に関しても、ベトナム・ラオス・ビルマ・カンボジアと、以前は困難であった国々での調査が次第に可能になってきました。さらに、どんな辺境の村でも、国家の規制やグローバルな経済の動向と無関係ではなくなっている今日、研究の目的・方法も、それに応じた変化を余儀なくされてきています。

このような変化の中で、当研究会も、知らず知らずのうちに、かたちを変えてきたに違いありません。しかし、毎回多くの人々の参加を得て、100回にわたり継続してこられたことは、当研究会が、フィールドでの新鮮な経験・発見・スペキュレーションを、シニア・若手を問わず、自由に発表できる場であり続けてきた証ではないかと思えます。

第100回は、通常の例会とは趣向を変え、「これまでの20年、これからの20年」と題した記念例会を企画しました。まず、記念講演として、当研究会の設立当初から深く関わってこられたお二人に、これまでの20年間 - あるいはそれ以上 - の東南アジア（研究）を振り返りつつ将来への提案などを話していただく予定です。つづいてのシンポジウムでは、東南アジアの海域研究、農村研究、森林研究の各分野で、どのような研究がこれまで行われてきたのかを、それぞれの研究者にレビューしていただきます。総合討論では、現状の課題・問題点を明確にした上で、我々が今後すすめていく研究の方向性を議論したいと思えます。「これからの20年」のために。

皆さまの多数のご参加を期待しております。

問い合わせ先：

柳澤 雅之 京都大学 東南アジア研究センター 075-753-7345  
masa@cseas.kyoto-u.ac.jp

田中 耕司 京都大学 東南アジア研究センター 075-753-7307  
kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp

## 東南アジアの自然と農業研究会 第100回記念例会

### 【これまでの20年、これからの20年】

日 時：2001年4月20日（金）13：00～17：30（懇親会 18：00～）

会 場：京大会館 210号室（懇親会は212号室）

#### ～プログラム～

13：00～13：15 田中 耕司（京都大学 東南アジア研究センター）  
「趣旨説明」

記念講演（司会：田中 耕司）

13：15～13：45 高谷 好一（滋賀県立大学 人間文化学部）  
「東南アジアの野と森と海：20年の軌跡」

13：45～14：15 福井 捷朗（立命館アジア太平洋大学）  
「地域研究のなかの農業研究」

シンポジウム（司会：柳澤 雅之）

14：30～15：10 長津 一史（京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科）  
「海域研究の歴史と現状そして今後の課題（展望）」

15：10～15：50 河野 泰之（京都大学 東南アジア研究センター）  
「農業研究の歴史と現状そして今後の課題（展望）」

15：50～16：00 ～休憩～

16：00～16：40 阿部 健一（国立民族学博物館 地域研究企画交流センター）  
「森林研究の歴史と現状そして今後の課題（展望）」

総合討論

16：40～17：30 司会：田中 耕司・柳澤 雅之

懇親会（於212号室）

18：00～19：30